

時間割コード	G2B60525	開講年度	2026				
授業題目	弓道					担当教員	杉本 光公
英文授業名	Kyudo						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	全
講義室	第2弓道場			授業形態	実技	遠隔授業科目	
						備考	場所：第二弓道場
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力					⇔	・教員からの情報発信やグループワーク、その他の情報を的確に収集し、実行する。 ・生涯スポーツとして実施可能な弓道の知識・手段を修得するためのきっかけを作る。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	基本的な射法、射術、体配を学ぶことにより、動きの身体知を培い、弓を射る楽しさや、矢を的中てるよろこびを通して、健全な身体的感性を育むことを目標とする。						
(5)授業のキーワード	弓道						
(6)授業計画	1) ガイダンス（受講にあたっての留意点、説明） 2) 近距離からの発射練習（矢の注文、弓矢の扱い方） 3) 近距離からの発射練習（狙い、弓の振り方、引きながら離す） 4) 近距離からの発射練習（矢番え、手の内の働き、伸び合い） 5) 近距離からの発射練習（足踏み、胴造の仕方） 6) 近距離からの発射練習（右手を右頬に付ける、正しい狙い） 7) 近～中距離からの発射練習（取り懸けと離し方、残心、弓倒し） 8) 近～中距離からの発射練習（右手の働き、体の割り込み） 9) 近～中距離からの発射練習（手の内の作り方、打起し、引分け、詰合） 10) 中距離からの発射練習（三分の二、頬付、正しい矢尺） 11) 中距離からの発射練習（ゆがけの付け方、離れ） 12) 中距離からの発射練習（全体的な復習） 13) 正規の距離からの発射練習（射癖の説明、弓具の手入れ） 14) 正規の距離からの発射練習（競技方法と簡単な体配） 15) 射会（授業アンケートを実施する）						
(7)成績評価の方法	成績は、授業への取り組み、技能の修得、授業態度により総合評価する。						
(8)成績評価の基準	授業に積極的に参加し、弓道の技術を修得し、安全に矢を射ることできるようになれば、可とする。 さらに、適切な所作を理解し、正しく射が行えた場合は良とする。 さらに、体配を理解し、試合形式の授業を問題なく実施できた場合は優とする。 さらに、学外の大会などに参加できるようになり、他の学生の模範となれるものを秀とする						
(9)事前事後学習の内容	※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	原則、弓道未経験者対象。初心者に合わせて指導していくので、的前で引くまで2ヶ月ほどかかります。 経験者が受講する場合は、上記授業の進め方等を確認して、受講の可否を承認しますので、エントリー前に必ず事前に連絡してください。 各自、初回の授業で、自分の矢2本を購入すること（1万円ほど）。 体の前にボタン、紐など弦が引っかかる物のない運動着着用のこと。 安全上、弓矢の取り扱いに十分注意すること。 遅刻は、授業開始30分以内。遅刻3回で欠席1回となるので注意すること。						
(11)質問、相談への対応	e-mailにて対応する。アドレスはガイダンス時に通知する。						
(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とします						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	基本的に補講をおこなう						
【教科書】	使用しない						
【参考書】	『日置流印西派歩射 弓道教本』稲垣源四郎、東京書店、2,100円 『弓道上達BOOK』森俊男監修、成美堂出版、1,260円						

【参考書】	『はじめての弓道：美しい所作が身につく。心と体を鍛えて健やかにする。』松尾牧則著、ナツメ社、1,540円
-------	--